

ロココ様式の没入型フォトスポットの制作

阿部研究室 A22AB121 牧野日菜詩

1. 背景と目的

「姫系」というインテリア空間の源流がロココ様式にあることを研究を通じて知った。近年のロココ風空間は表面的な模倣にとどまり、様式本来の構成や思想を再現していない。また、インテリア分野での学術的研究が少ない。本研究では、ロココ様式の空間構成と思想を踏まえた没入型フォトスポットを制作し、ロココ様式のインテリアの構成要素を明らかにすることを目的とする。

2. 研究方法

- ①文献調査
- CiNii Researchでロココ様式の背景・思想・空間構成を修正、整理
- ②要素の抽出
- ロココ様式を特徴づける要素を抽出
- ③評価基準の設定
- 装飾性・色彩・曲線・構成・統一感の五項目
- ④ロココ風空間の評価
- 日本住宅を対象に評価
- ⑤試作
- 抽出要素と評価基準を反映した空間を試作し、改善点を明確化
- ⑥本制作
- ロココ様式の没入型フォトスポットの制作

5. 空間の評価基準の設定と評価・分析

- 5-1. 評価基準の設定
- 五項目、各項目0～20点の5段階で判定
合計75点以上を「様式的に成立したロココ空間」とする【表1】
- 5-2. ロココ風空間の評価
- 住まいをテーマにした日本最大級のSNS「Room Clip」を利用して行った
#ロココで検索し、ヒットした297件の日本の住宅空間を対象に評価した

3. 既存研究

検索エンジンCiNii Researchで美術・文学・インテリア・建築分野について検索を行った。

- 「ロココ」、「中世ヨーロッパ」、「宮殿」、「貴族文化」、「ルイ15世」、「サロン文化」、「マリーアントワネット」、「ボンパドール夫人」
- 「インテリア」、「デザイン」、「建築」、「室内装飾」、「趣味」、「内装」、「美術」、「様式」、「フランス」、「18世紀」

- 新井竜治「ノステル・プライオリの図書室テーブルと堅琴の肘掛椅子: 英国家具史研究(2)」共栄学園短期大学研究紀要(2)67-138,2005-01-01
 - 片山勢津子「小説『プティットメゾン』の執筆意図について ロココ様式に関する研究」日本建築学会近畿支部研究報告集、計画系(58)561-564,2018-06-23
 - 勝山祐子「ヴァルデュランのサロンの同一性: ブルーストの作品における室内装飾の側面」文化学園大学紀要47-97-112,2016-01-31
- 美術史・文学史の研究は22件ヒット、誕生背景や思想に関する内容が多数
 - 文学から読み取れる研究もあったが、情報が少ない
 - 現代での再現性を検証した研究は一件もない

4. 歴史的背景・ロココ様式の特徴

■歴史

- 18世紀初頭フランスで誕生
- ルイ14世死後、バロックの重厚さから軽快・親密な空間への転換で発展
- 18世紀後半に享楽性への批判で衰退

■特徴

- 色彩: パステルカラー＋白、金銀
- 装飾: 花・葉・貝殻など自然モチーフの繊細な装飾
- 曲線: 非対称で流動的なS字・C字曲線
- 構成: 小規模で親密、視線が流れる統合的な空間

- 「様式的に成立したロココ空間」は0件
多くは表面的な双翼の模倣にとどまり、統一化を欠いていた
- 「惜しい」空間は4件あった
理由: 壁面が濃いピンク色、天井と壁の装飾が少ない、金色の曲線装飾が一部分にある

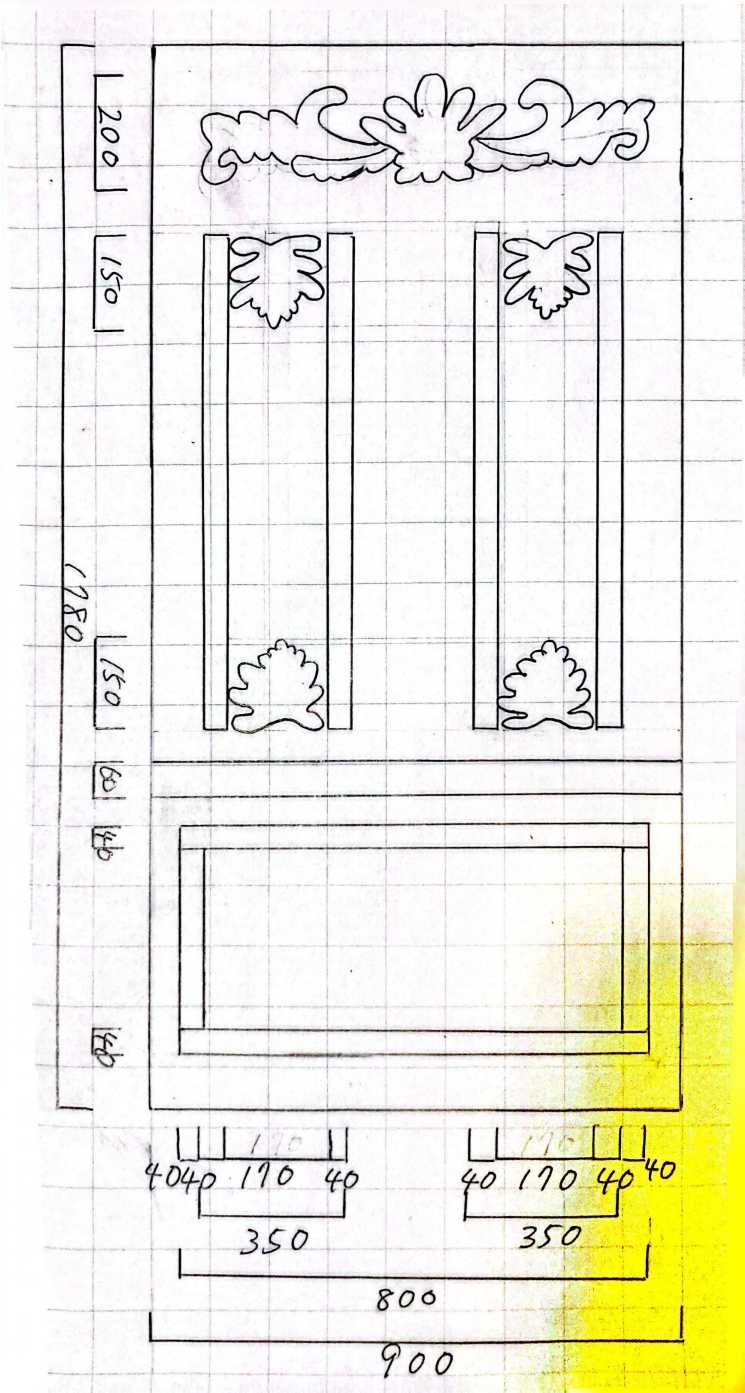
【表1】ロココ度評価表

評価項目	20点(ロココ度100%)	15点(ロココ度75%)	10点(ロココ度50%)	5点(ロココ度25%)	0点(ロココ度0%)
装飾性	☑壁・天井・家具・小物すべてに装飾があり、ロカイユ(貝殻・小石)・花綱・アカンサス等の自然モチーフ・リボン・渦巻き・S字/C字の曲線・天使、金箔・漆喰・木彫を忠実に再現されている	☑壁・天井・家具にロカイユ(貝殻・小石)、花綱・アカンサス等の自然モチーフ・S字/C字の曲線、金箔・漆喰がある	☑空間の一部(壁の一面、家具数点)のみにロカイユ(貝殻・小石)、花綱・アカンサス等の自然モチーフ・S字・C字等の曲線がある	☑1,2 か所に曲線装飾がある	☑ロココ的モチーフが確認できない
色彩	☑パステルカラー＋白＋金銀	☑パステルカラー＋白＋金	☑パステルカラー＋金	☑パステルカラーのみ	☑パステルカラーではない
曲線	☑家具・壁・天井・鏡など空間全体にS字・C字・渦巻・アーチが一貫して展開されている	☑家具、壁面、天井に曲線モチーフ(S字・C字・渦巻・アーチ)が多くある	☑家具・壁に部分的に曲線モチーフ(S字・C字・渦巻・アーチ)がある	☑一部に曲線モチーフ(S字・C字)があるが、全体は直線的である	☑直線的で曲線要素がない
構成	☑空間全体が曲線的・非対称で、壁・天井・床・開口部が連続し、視線が自然に流れる	☑壁と天井に曲線構成があり、視線が流れる	☑壁1面や天井など部分的に曲線構成がある	☑一部に曲線があるが全体は幾何学的で視線が止まる	☑直線的・単調で視線誘導がない
統一感	☑配色・装飾・家具・構成がロココ様式に沿って完全に統一されている	☑ほぼ統一されているが一部に異質な要素がある	☑統一感はあるが家具や小物にブレがある	☑部分的にロココ要素があるが調和していない	☑要素がバラバラで統一感がない

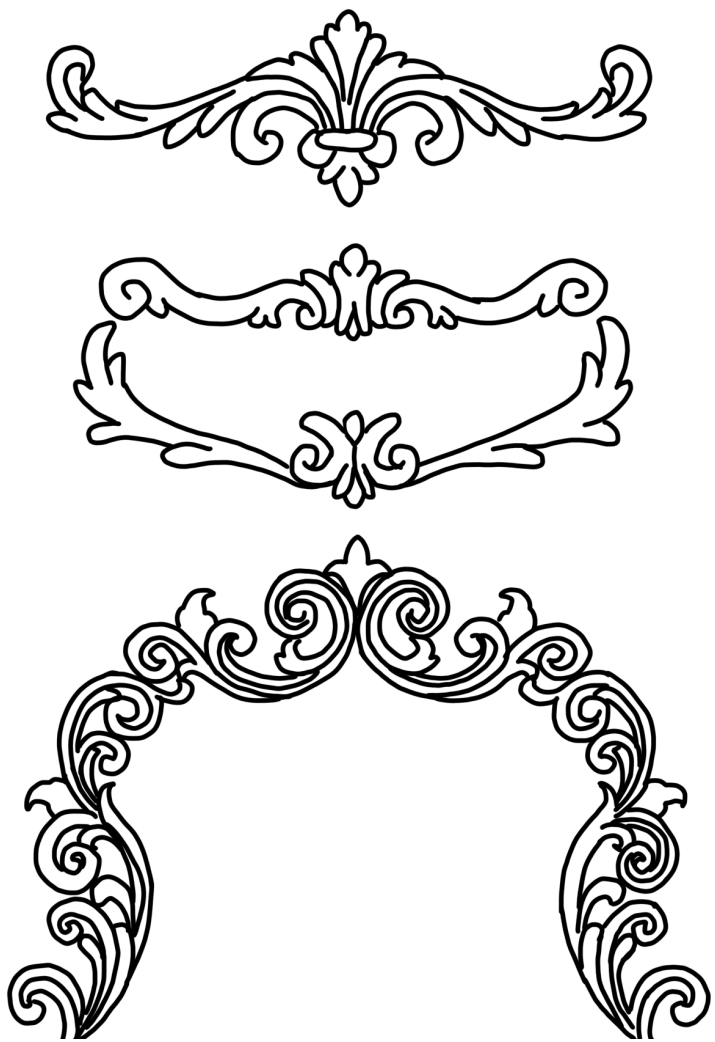
6. 試作



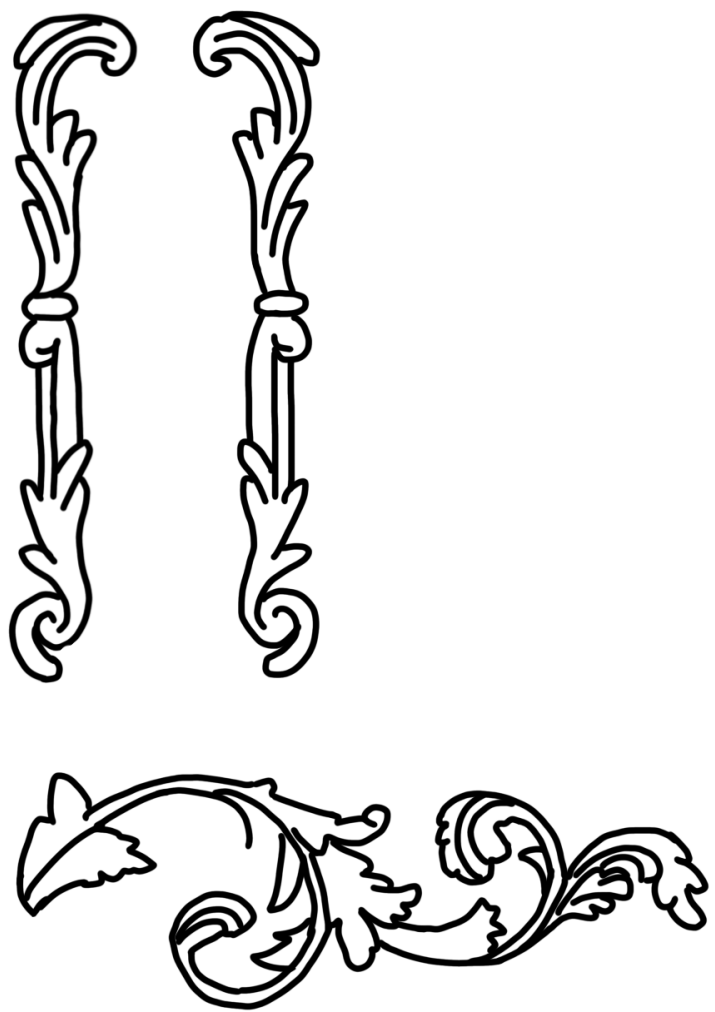
【図6】試作



【図7】1／10立面図



【図1】装飾デザイン画①



【図2】装飾デザイン画②



【図3】パネルサイズ試行中



【図4】改良前



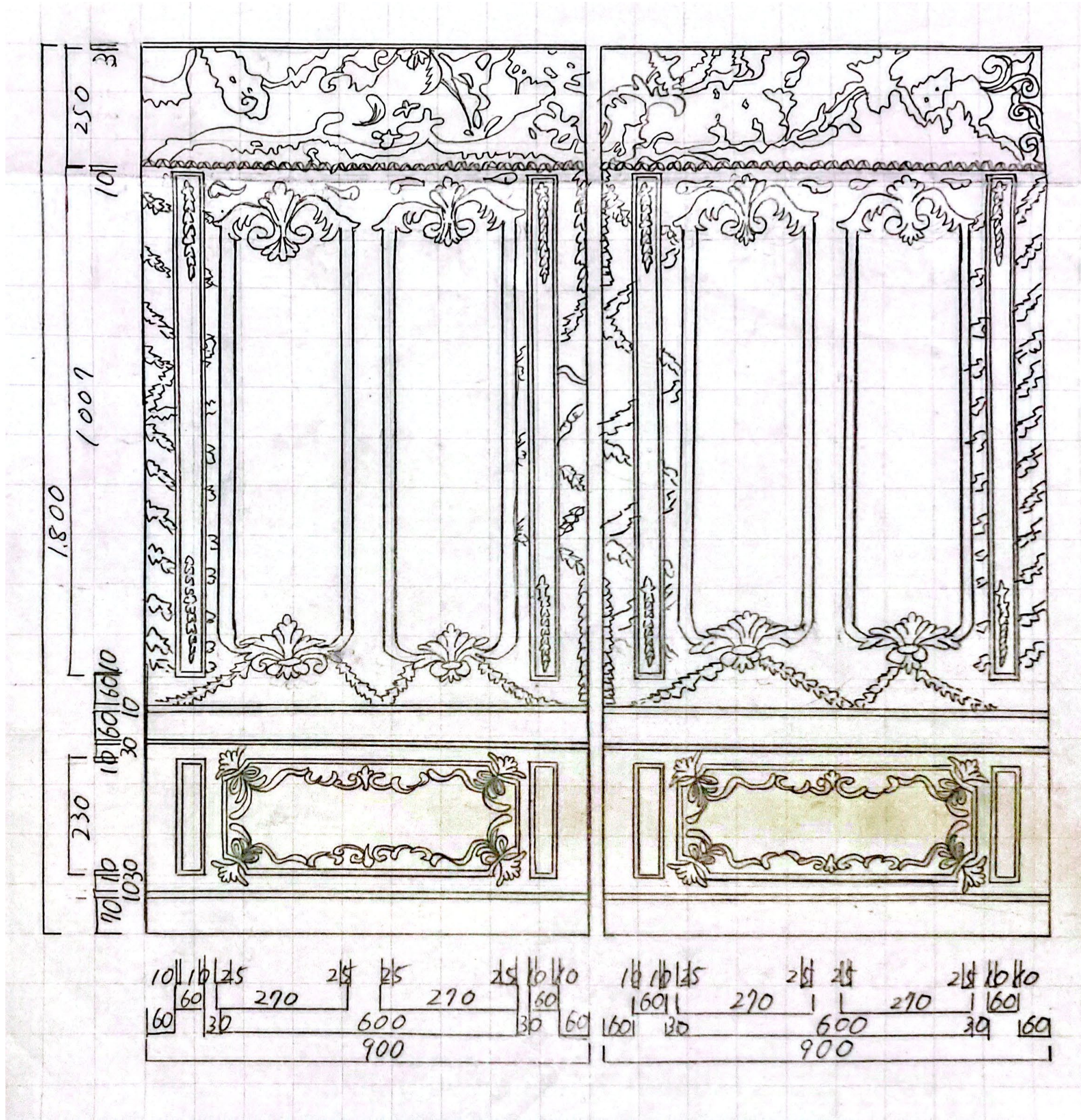
【図5】改良後

- サイズ、装飾・色彩の決定
- 縦900mm×横1780mmの段ボール製パネルをL字に配置【図3】
 - 壁面は淡いピンク色、壁紙を段ボールパネルに貼った
 - 装飾はスタイロフォームに金色を塗装して制作【図4】、しかし発色が弱かったためスチレンボードを貼り付けた上から塗装するように改良した

9. おわりに

本研究では本来のロココ様式から離脱したロココ風空間の拡散に着目し、構成と思想が調和した「没入型フォトスポット」として再構築する可能性を明らかにした

7. 本制作



【図8】1／10立面図



【図9】本制作(正面)



【図10】本制作(斜め)

- 【改良点】
- 壁パネル: ジェッソを塗布後、壁紙を貼る
 - 装飾: 幅10mm、強調したい部分25mm
 - 天井と湾曲した境界部を追加

注釈

● 川向正人・海老澤模奈人・加藤耕一「西洋の名建築解剖図鑑」(株式会社エクスナレッジ、2023年)

● 鶴岡真弓「装飾デザインを読み解く30のストーリー」(株式会社日本ヴォーグ社、2018年)

● 城一夫「フランスの装飾と文様」(株式会社バイインターナショナル、2015年)

● 鶴岡真弓「すぐわかるヨーロッパの装飾文様―美と象徴の世界を旅する―」(株式会社東京美術、2013年)

● 白須賢元樹「ヨーロッパアンティーク 大百科」(鳥影社、2011年)

● 田中恭子「写真でたどる ヨーロッパ建築インテリア大百科」(柏書房株式会社、2007年)

● 中林幸夫「図で見る洋家具の歴史と様式」(理工学社、1999年) Room Clip <https://roomclip.jp/tag/search?keyword=%E3%83%AD%E3%82%B3%E3%82%B3>(2025年9月15日現在)

● nextdst.com <https://nextdst.com/germany/rococo/> (2025年6月10日現在)

● レキシル[Rekisiru] https://rekisiru.com/8968#google_vignette(2025年6月10日現在)

● 絵、cocoro <https://arttayousei.online/rococo-art/> (2025年6月6日現在)

● 世界史の窓 <https://www.y-history.net/appendix/whl003-060.html>(2025年6月6日現在)

● Westhouse gallery <https://www.westhose.co.jp/blog/rococo-style.html>(2025年5月31日現在)